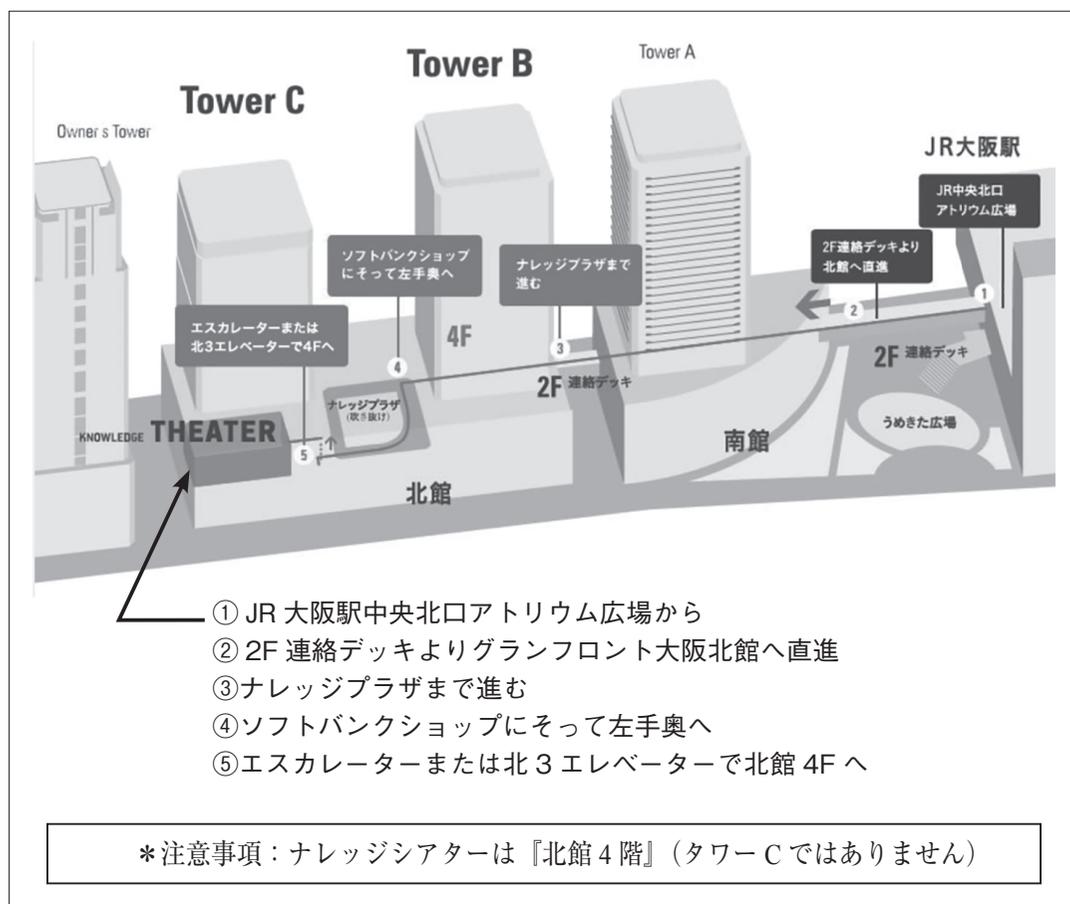


第 43 回 近畿川崎病研究会

日時：平成 31 年 3 月 2 日（土）
12：55～18：20

会場：グランフロント大阪 北館 4 階
ナレッジシアター
大阪市北区大深町 3-1



共催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

—近畿川崎病研究会—

第43回 会長

山川 勝

運営委員長

鈴木 啓之

運営委員

池田 和幸	泉井 雅史	井上 智弘	内山 敬達
小澤誠一郎	片山 博視	鎌田 政博	萱谷 太
河津由紀子	城戸佐知子	小垣 滋豊	小林 奈歩
坂崎 尚徳	白石 淳	宗村 純平	津田 悦子
寺口 正之	土井 拓	中川 雅生	(成田 淳)
馬場 志郎	廣田 常夫	(藤田 秀樹)	松村 正彦
丸谷 怜	三谷 義英	村上 洋介	山川 勝
山本 英一	吉澤 弘行	吉村 健	

() は運営委員会で承認予定

特別顧問

川崎 富作

顧問

尾内善四郎 北村惣一郎 横山 達郎

名誉会員

上村 茂 川島 康生 清澤 伸幸 篠原 徹
鈴木 淳子 濱岡 建城 森 忠三 (故人)

事務局 和歌山県立医科大学 小児科

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811 番地 1

TEL 073-441-0633

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail kkjim1981@kinki-kawasaki.jp

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

(1) 開始時間は午後 12 時 55 分です。

(2) 参加費は 1,000 円です。

なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。

(年会費は 3,000 円です)

(3) 本会は、日本小児循環器学会 専門医研修集会 8 単位となっています。

2. 演題発表について

(1) ご講演は、PC プレゼンテーションのみとなります。タブレット PC, iPad などでの講演はできません。

(2) 一般演題 発表 6 分・討論 4 分

(3) ご発表予定時間の 1 時間前までに、USB メモリ（ご発表データのみを保存）を会場の「データ受付」にお持ちいただき、受付をお済ませください。

(4) ご発表内容が動画を含む場合は、必ずご自身の PC 本体でデータをご持参ください。

・会場で用意するコネクターの形状は D-sub15 ピンのみです。

・AC アダプターは必ずお持ちください。

(5) ご発表データは、Windows、Machintosh とともに PowerPoint で作成されたものをご用意ください。

(6) 使用 OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。

・Windows : Win-7、Win-8、Win-10

・Machintosh : OSX

(7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。

・Windows : PowerPoint 2007、2010、2013、2016

・Machintosh を使用される方は、ご自身のパソコンをお持ちください。

(8) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。

(9) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。

・例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名 : 14 近畿.ppt

(10) 講演終了後、舞台袖において、お預かりした USB メモリおよび PC 本体をご返却いたします。

【開会の挨拶】 12:55 ~ 13:00

第43回会長 山川 勝（神戸市立医療センター中央市民病院
小児科・新生児科）

【一般演題 セッション1】 13:00 ~ 14:00

座長 藤田秀樹（姫路赤十字病院 小児科）

1. 先天性心疾患術後早期に発症した川崎病3症例の検討

京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学

池田和幸、遠藤康裕、竹下直樹、森下祐馬、浅田 大、岡本亜希子、
八幡倫代、河井容子、梶山 葉、中川由美、細井 創

2. BCG接種痕の発赤を認めたが免疫グロブリン投与なしで解熱し、
後にウイルスが同定された3症例

和泉市立総合医療センター 小児科

藤井隆大、曾我部茉耶、矢崎耕太郎、澤田 智、坂東賢二、村上城子
大阪市立大学医学部附属病院 小児科・新生児科
柿下優衣

3. マイコプラズマ（MP）感染と川崎病との併存が考えられた1男児例

香川県立中央病院 小児科

岡本吉生、住友裕美、川口奈菜、川本昌平、小林光郎、佐藤 潤、
伊藤 滋

4. 診断確定前にARDSを発症した川崎病の一例

済生会滋賀県病院 小児科

中島 亮、大島理利、中井真由美、龍神布紀子、伊藤英介
滋賀医科大学附属病院 小児科
宗村純平

5. 全身性に動脈瘤を呈した新生児期発症川崎病の一例

大阪母子医療センター 小児循環器科

豊川富子、高橋邦彦、松尾久実代、平野恭悠、石井陽一郎、
青木寿明、萱谷 太

大阪母子医療センター 血液腫瘍科

清水真理子、井上雅美

大阪府立急性期総合医療センター 小児科・新生児科

小垣滋豊

6. 川崎病発熱時心電図を契機に診断された Brugada 症候群 genotype (Brs1) の 1 例

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

久米英太郎、宮越千智、青田千恵、鶴田 悟、山川 勝

国立循環器病研究センター 分子生物学部

大野聖子

【一般演題 セッション2】 14:00 ~ 15:00

座長 三谷義英 (三重大学医学部附属病院 周産母子センター)

7. 川崎病診療におけるプレセプシンの有用性の検討

福井愛育病院 小児科

田尾克生、葛城卓弥、近藤博章、森岡茂己、平野聡子、
石原靖紀、春木伸一、石原義紀

8. 川崎病患者における冠動脈病変及び再発予測に関する検討

箕面市立病院 小児科

新田統昭、山本威久、溝口好美、天羽竜子、石見壮史、
東 純史、木島衣理、下辻常介

大阪大学医学部附属病院 小児科

杉辺英世、桂 聡哉、橋本和久、櫻井美帆子、山田知絵子

9. 多臓器障害の観点から川崎病を評価する

広島市立広島市民病院 循環器小児科

石口由希子、鎌田政博、中川直美、森藤祐次、川田典子、
岡本健吾、鈴木崇之

10. 川崎病冠動脈病変の心エコー分類「A-1, 2」患児における経過観察

近畿大学医学部 小児科学教室

西 孝輔、丸谷 怜、稲村 昇、杉本圭相

11. IVIG 不応性川崎病に対する当院の段階的治療戦略 Up To Date

－ IVIG・PSL・CyA・IFX・PE の組み合わせ方－

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科・小児救急集中治療科

高原賢守

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

河内晋平、山上雄司、加藤隆宏、菅 健敬

12. IVIG 不応性川崎病に対して ASA と PSL と H2 blocker を併用し

上部消化管出血で出血性ショックを来した 1 例

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科・小児救急集中治療科

高原賢守

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

河内晋平、山上雄司、加藤隆宏、菅 健敬

コーヒープレイク 15：00 ～ 15：20

事務局報告

15：20 ～ 15：30

運営委員長 鈴木啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

【特別企画】 15:30 ~ 17:00

Pro & Con セッション

「川崎病の実臨床におけるエビデンスを求めて」

座長 山川 勝（神戸市立医療センター中央市民病院 小児科・新生児科）
鈴木啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

1. IVIG 不応予測スコアの使用は有用か？

Pro の立場から：IVIG 不応予測スコアの使用は有用である

大阪母子医療センター 小児科

鬼澤真実

Con の立場から：IVIG 不応予測スコアの使用は有用ではない

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

宮越千智

2. 初期治療におけるステロイド併用は有用か？

Pro の立場から：初期治療におけるステロイド併用は有用である

天理よろづ相談所病院 小児科

樋垣 諒

Con の立場から：初期治療におけるステロイド併用は有用ではない

兵庫県立こども病院 循環器内科

三木康暢

3. アスピリンは有用か？

Pro の立場から：アスピリンは有用である

和歌山県立医科大学 小児科

末永智浩

Con の立場から：アスピリンは有用ではない

京都第二赤十字病院 小児科

小林奈歩

【特別講演】 17：10 ～ 18：10

座長 山川 勝（神戸市立医療センター中央市民病院 小児科・新生児科）

「腸内細菌叢の異常と小児疾患の関わり ～川崎病を含めて～」

関西医科大学 小児科学講座 主任教授 金子 一成 先生

【閉会の挨拶】 18：10 ～ 18：20

第 43 回会長 山川 勝（神戸市立医療センター中央市民病院
小児科・新生児科）

第 44 回会長 小垣滋豊（大阪府立急性期総合医療センター
小児科・新生児科）

【情報交換会】 18：30 ～

近畿川崎病研究会会則

2016年4月改訂

1. 名称
近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。
2. 目的
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業
 - 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する（原則3月第1週土曜日開催とする）。その内容は、広く公表することを原則とする。
 - 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
4. 運営委員会
 - 1) 本会に次の役員を置く。
 - ①運営委員長 1名
 - ②運営委員 若干名
 - ③会計 1名
 - ④監事 1名
 - ⑤名誉会員
 - ⑥顧問
 - ⑦特別顧問
 - 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
 - 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任を妨げない。
 - 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
 - 5) 年会費を3年間滞納した場合は、継続の意思がないとみなし退任とする。運営委員会・研究会に3年連続欠席の場合は、継続の意思の確認をもって退任とする。
 - 6) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
 - 7) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
 - 8) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
 - 9) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
 - 10) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
 - 11) 名誉会員は運営委員長が運営委員会に諮り推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
 - 12) 顧問は運営委員長が運営委員会に諮り名誉会員の中から会の運営上必要と認めた者とし、運営委員会に出席できる。
 - 13) 川崎病に関して広い知見をもつものを特別顧問としておく。特別顧問は、本会の運営等について助言をすることができ、任命は、運営委員長が運営委員会に諮り行うこととする。
5. 会員
 - 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
 - 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。

6. 学術集会の発表者の制限
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計
 - 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
 - 2) 年会費は3,000円／人、参加費は1,000円／人とする。
 - 3) 名誉会員、顧問および特別顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。
和歌山県立医科大学 小児科
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1